

平成29年度特定非営利活動法人地域おこし事業計画書

1 事業実施の方針

池谷・入山集落において、「集落の存続」を目指し、組織としての営農体制を充実させる。具体的には今後3年間で農業従事者4名の体制を作り、ライスセンターを建設するための準備を行う。将来的には農地集約の受け皿に当会がなれるように組織としての稲作技術の習得・向上を図る。収穫量を1反歩8俵程度は取れるようにし、コストを削減して採算がとれるようにする。山清水販売については、予約を増やすための施策を実施する。

また、体験交流事業については前年同様、外部の団体等と連携した取り組みを行ったり、日帰りイベントにして来てもらいやすい形にする。

高齢者が安心して暮らし続けられる体制を作るために、冬に集まって運動する場を設けたり、集落内の除雪を請け負う。

飛渡地区において作成の支援をした将来ビジョン実現のための取組みにおいて飛渡地区でお米を出荷するのに協力し、生産者を募ってポップコーンに関東のお店に出荷する取り組みを行う。

飛渡地区で企業向けに平日の受入ができるようにウェルネスツーリズムのサポートを行う。

また、新水の無形文化財である道楽神に必要なワラを供給する。

十日町市全域に対しては、里山プロジェクトの事業を今年度で一区切りつけ、里山プロジェクト単体で独立するための準備を行い、来年度から里山プロジェクトを独立させる。

また、十日町市内の企業等に向けて、新しいビジネスモデルを作るための継続的な研修会を単発ではなく、通年で実施し、金融機関等も巻き込んで市内に雇用を生むための仕組み作りを目指す。

移住定住に関わる取り組みでは、人材紹介業を開始するための準備を行い、十日町市内の企業へのインターンシップ事業を行い、そこから採用に結びつけるような取り組みを試行する。

全国各地の地域おこしに熱心な人達に対して、地域おこしの応援になるような取り組みを実施していく。

地域おこし協力隊アドバイザー事業を十日町市の外で実施する。

また、地域おこしに関する研修会や地方での起業支援研修を定期的実施する。

新潟県や県内の中間支援組織と連携し、地域おこしのコーディネーターを一つの仕事として確立し、コーディネーターを育成していく仕組み作りを目指す。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
池谷・入山モデル作り事業	①池谷・入山で農作物の生産・販売 ②池谷・入山で農山村体験の受入 ③池谷・入山の高齢者支援	通年、随時	池谷・入山集落	7人	池谷・入山の農産物を購入したり、訪れる全国各地の人達1000人	15,531,026
地域おこし応援事業	①全国各地の地域おこしの応援 ②十日町市内全域への移住促進	通年、随時	日本全国	3人	インターン希望者5名、都会に住む移住希望者70名、地域おこしを頑張ろうとする人達1000名	2,471,001
里山プロジェクト(地域復興支援員設置事業)	①地域おこし協力隊の支援 ②十日町市内での地産地消を推進 ③十日町市内の中山間地復興	通年、随時	十日町市内全域	7人	十日町市内の中山間地の集落の住民1000人	25,576,000